

登録コード	FSC16600	開講年度	2026			
授業題目	感性工学演習Ⅳ				担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Advanced Seminar on Kansei Engineering Ⅳ				副担当	佐古井 智紀・堀場 洋輔
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	26FSカ・繊維学					
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力
	【専攻】繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力				⇔	繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力				⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力				⇔	専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力
(2)授業の概要	担当教員ごとの少人数グループに分かれて，集中形式で計 1 4 回の演習を実施する。 各院生が感性工学に関連する資料をまとめてプレゼンテーションを行い，担当教員および演習参加の院生間で討論を行う。					
(3)授業計画	担当教員ごとに、対面及びオンライン授業（非同期・同期）を実施する。 各担当教員の指示・連絡に従うこと。 第 1 回 製品の快適性計測・評価・デザインに関連する英文論文読解の検索(全教員) 第 2 回 製品の評価に関連する英文論文読解の検索(全教員) 第 3 回 製品のデザインに関連する英文論文読解の検索(全教員) 第 4 回 検索した英文論文についてデータベース化の演習(整理方法)(全教員) 第 5 回 検索した英文論文についてデータベース化の演習(情報解析)(全教員) 第 6 回 プレゼンテーション演習(製品の快適性計測関連)およびグループ討論(全教員) 第 7 回 プレゼンテーション演習(製品の官能評価関連)およびグループ討論(全教員) 第 8 回 プレゼンテーション演習(製品のシミュレーション評価関連)およびグループ討論(全教員) 第 9 回 プレゼンテーション演習(製品の物理計測関連)およびグループ討論(全教員) 第 1 0 回 プレゼンテーション演習(製品のデザイン設計関連)およびグループ討論(全教員) 第 1 1 回 製品の快適性計測関連する論文作成技術の演習(全教員) 第 1 2 回 製品の官能評価に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第 1 3 回 製品のシミュレーション評価に関連する論文作成技術の演習(全教員) 第 1 4 回 製品の物理計測評価に関連する論文作成技術の演習(全教員)					
(4)成績評価の方法	出席を含む授業への参加態度（60％） 発表の内容による評価（40％） 得点率による評価基準は次の通りとする。 90％以上 秀， 89－80％ 優， 79－70％ 良， 69－60％ 可， 59％以下 不可。					
(5)成績評価の基準						
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意	修士課程の 2 年目に「感性工学演習Ⅲ」とともに通年で受講すること。					
(8)質問,相談への対応	随時					
(9)授業の形式	小グループに分かれて行うディスカッション形式					
(10)学生へのメッセージ	担当教員への質問や討論などは積極的に行うこと。					
【教科書】	担当教員と相談の上，選定する。					
【参考書】	必要に応じて紹介する。					